

アレルギー物質を含む食品検査（令和7年度）

現在、食物アレルギーの原因となることが知られている食品原材料のうち、症例数が多いものや重篤度の高いもの8品目（卵、乳、小麦、そば、落花生、えび、かに、くるみ）が特定原材料として指定されています。加工食品にこれら特定原材料を含む場合、その旨を表示することが義務付けられています。しかし、表示の記載漏れや製造・調理施設での混入（コンタミネーション）等により、食物アレルギーのある人がその食品を知らずに食べることで、じん麻疹、下痢、呼吸困難等のアレルギー症状を引き起こし、中には死に至るケースもあります。そのため、横浜市では主に特定原材料の表示がない食品や特定原材料除去食の検査を行っています。

令和7年度に、医療局食品専門監視班が市内の食品製造施設等から収去した食品54検体並びに各区福祉保健センターが市内の保育所及び小学校等から収去した特定原材料除去食69検体、合計123検体について、卵、乳、小麦の検査を行いました。今回、これらの検査結果を報告します。

1 卵の検査

市内の食品製造施設等から収去した原材料に卵を使用していないとされる食品18検体（菓子類8検体、冷凍食品類8検体、そうざい類2検体）並びに市内の保育所及び小学校等から収去した卵除去食等35検体（そうざい類32検体、菓子類3検体）、合計53検体について、卵の検査を行いました。ELISA法によるスクリーニング検査の結果、全て陰性（10ppm未満）でした（表1）。

表1 卵の検査結果

検体名	スクリーニング検査		確認検査	
	検体数	陽性数	検体数	陽性数
そうざい類（スープ、パスタ等）	34	0	-	-
菓子類（ケーキ、ビスケット等）	11	0	-	-
冷凍食品類（焼きそば、タルト等）	8	0	-	-

2 乳の検査

市内の食品製造施設等から収去した原材料に乳を使用していないとされる食品18検体（菓子類8検体、冷凍食品類8検体、そうざい類2検体）並びに市内の保育所及び小学校等から収去した乳除去食等24検体（そうざい類23検体、菓子類1検体）、合計42検体について、乳の検査を行いました。ELISA法によるスクリーニング試験の結果、全て陰性（10ppm未満）でした（表2）。

表2 乳の検査結果

検体名	スクリーニング検査		確認検査	
	検体数	陽性数	検体数	陽性数
そうざい類（カレー、パスタ等）	25	0	-	-
菓子類（ケーキ、ビスケット等）	9	0	-	-
冷凍食品類（焼きそば、タルト等）	8	0	-	-

3 小麦の検査

市内の食品製造施設等から収去した原材料に小麦を使用していないとされる食品18検体(菓子類8検体、冷凍食品類8検体、そうざい類2検体)並びに市内の保育所及び小学校から収去した小麦除去食等10検体(そうざい類8検体、菓子類2検体)、合計28検体について、小麦の検査を行いました。ELISA法によるスクリーニング検査の結果、全て陰性(10ppm未満)でした(表3)。

表3 小麦の検査結果

検体名	スクリーニング検査		確認検査	
	検体数	陽性数	検体数	陽性数
そうざい類(カレー、パスタ等)	10	0	-	-
菓子類(ケーキ、ビスケット等)	10	0	-	-
冷凍食品類(焼きそば、タルト等)	8	0	-	-

「スクリーニング検査」と「確認検査」について

アレルギー物質を含む食品の検査では、まず、スクリーニング検査で陽性の可能性がある検体を選び出します。陽性の場合、別の検査法で再度陽性の確認を行います。

スクリーニング検査で用いるELISA法は、抗原抗体反応を利用して食品中に含まれる特定のタンパク質(アレルゲン)を検出する方法です。しかし、ELISA法では食品の加工度合いや使用原材料によって偽陽性となることがあります。そのため、スクリーニング検査で陽性となり、原材料表示に特定原材料の記載がなかった場合は確認検査を行います。

確認検査にはウエスタンブロット法とPCR法などがあります。「卵、乳」については、電気泳動によりタンパク質を分子量で分離して抗原抗体反応を行うウエスタンブロット法を用い、「小麦、そば、落花生、えび、かに、くるみ」については、特異的なDNA領域を増幅して検出するPCR法を用いて確認します。

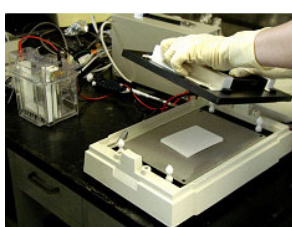
スクリーニング検査



ELISA法

(Enzyme Linked Immuno Sorbent Assay
酵素免疫測定法)

確認検査



ウエスタンブロット法
(卵、乳)



PCR法
(小麦、そば、落花生、
えび、かに、くるみ)

【 理化学検査研究課 食品添加物担当 】